



もりのふしぎ 「うみのもり マングローブ」

イラスト/たけだあおい

このコーナーでは、環境問題・自然のことに関する言葉をポノロンといっしょに学んでいきます。
ぜひお子さまとの対話のきっかけにしてください。



マングローブって
なんだワン?

うみにある
もりのことだロン



うみできがそだつ
なんてすごいワン



でも、その
マングローブが
へってきているんだ
ロン



ええっ、それは
たいへんだワン!

マングローブのふくざつなねっこにはいろんないきものが
すんでいたり、なみからりくちをまもってくれたりするから、
みんなでももっていかないといけないロン!



おうちの方へ マングローブとは、熱帯から亜熱帯地域の海水と淡水が交じる湿地帯などに生息する常緑高木のヒルギ科などの植物の総称で、日本では鹿児島県や沖縄県の島々にマングローブの原生林があります。マングローブには、魚、カニなどさまざまな生物が生息しており、陸上の森林のような生態系を形成しています。また、マングローブの幹や根は海と陸との間の緩衝場としての働きもあります。しかし、養殖池や農地の開発などにより、世界中でマングローブが急減しており、水害や地球温暖化の原因として問題になっています。

【参照】 国立環境研究所サイト / 環境再生保全機構サイト 【監修】 セブン-イレブン記念財団 高尾の森自然学校 後藤章